



一般社団法人
日本善行会

〒100-0006
東京都千代田区有楽町
2-10-1 東京交通会館内
TEL (03) 3212-6996
FAX (03) 3212-6998
URL: <http://www.zenkoukai.or.jp>
メール: info@zenkoukai.or.jp

毎月1日発行
編集発行人 相澤 克也

善行は、社会を
照らすともしび。

一般社団法人 日本善行会 会員各位

令和三年度理事会及び定時総会の開催についてご連絡

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和三年度の第一回理事会は書面表決による開催となりました。また、定時総会につきましては、会員皆様には外出自粛と、委任状の提出をお願い申上げ、六月十六日(水)に規模を縮小して開催することになりました。新型コロナウイルス変異株による感染拡大が全国に広がっていますので、くれぐれもご注意ください。ようお願い申し上げます。

令和三年度事業計画

(1) 秋季善行表彰

実施時期
令和三年
十一月二十六日(金)
実施場所
明治神宮参集殿 予定

1 表彰による 善行活動の推進

令和三年三月二十日に令和二年第三回理事会が書面で開催され、令和三年度収支予算及び事業計画が下記の通り承認された。

1 表彰による
善行活動の推進

本会の善行表彰は、今年度で春季・秋季七十一回目となり、前年度までの表彰総数は46,070件に達している。この善行表彰を受賞した多くの方々は、引き続き各地で善行活動を実践し、善行の輪を各地域に広げている。

また、春季及び秋季表彰に加えて、永年にわたって善行を継続している善行表彰受賞者への特別表彰(金章・銀章表彰)を昭和三十七年以降実施し、これまでに金章受賞者は353人、銀章受賞者は1,784人となっている。

3 長寿善行者の 秋篠宮皇嗣殿下御接見

この事業は、善行表彰受賞者が、秋篠宮皇嗣殿下から御接見の栄誉を賜る意義深いものである。この長寿善行者の御接見は、昭和四十五年九月に実現し、皇太子殿下の御接見が平成三十年まで続いている。

4 広報啓発活動の充実

情報化時代を迎えた今日、月刊紙「明るいニュース」やホームページが果たしている役割は大きい。「明るいニュース」の記事やホームページの充実を図って、各支部及び会員との連携の強化に努める。

5 組織と財政基盤の 強化

本会は、会員によって構成され、主に会員が拠出する会費によって運営されている。また、事業を効果的に全国展開するためには、各都道府県に支部が設置される必要がある。

6 諸会議の開催

本会の定款に定められている会議には、総会、理事会及び常務理事会が開催される。

(3) 第三回理事会

開催時期
令和三年
三月下旬 予定
開催場所
グランヒル市ヶ谷

(2) 第二回理事会

開催時期
令和三年
六月十六日(水) 予定
開催場所
グランヒル市ヶ谷

(1) 第一回理事会

総会

ある。また、定款には定められていないものの、本会業務の連絡調整の場として支部長会が設けられている。

支部だより

大分県大分支部

令和三年「春の 全国交通安全運動」 に参加

春の全国交通安全運動が四月六日から四月十五日まで実施されました。大分支部は四月七日十四時から大分市内中心部、昭和通り交差点において街頭活動を実施しました。

松井猛支部長の挨拶に始まり、事務局長から歩行者への留意点の説明、コロナ禍の中ではありま

したが、昨年度、全ての行事の中止もあり、久しぶりの再会を喜びあいました。

今回の啓発活動は、人と人との接触を避けるため、歩行者への配布は取り止め、大人数による無言での事故防止アピールにしました。道行く人々も揃いのハッピー姿や交通安全のぼり旗に不思議そうな顔で通り過ぎて行きます。振り返りながら見てもらう事で啓発効果はあったと手応え感じました。

好天にも恵まれ、参加者も二十四名と多く、ま



た中央警察署からの応援も頂き心地良い時間を過ごす事ができました。松井猛支部長の終了の挨拶、またの再開を楽しみに解散しました。

東京都新宿支部

AED搭載車で 社会貢献に！②

支部長 前田 哲也

AEDを自家用車に搭載し三ヶ月になりました。発進時は何だか照れ臭い気もしますが、必ずやお役に立てると信じ運転を楽しんでいます。行く先々にAEDステッカーは目立つ様子で、つい先日このような事がありました。駐車場の係員のそわそわと繰り返し視線があり近付いて来ました。窓から『はいっ？』と言うと、『ええ！それ見たいのです！……』視線の意味がAED搭載車のステッカーの



事で、早速ハッキリとした姿勢で『これが搭載の日本製AEDです！』と紹介をしました。自家用車は初めて見たそうで関心をしていました。緊急時もこのように勇気を持って私に声をかけてもらいたいと思います。

現在のAED搭載車は観光バス・タクシー・トラックのそれぞれ一部の車両が搭載していますが、一般人の自家用車は、国内では聞いたことを無いので先駆けた事例になっ

てるようです。私の搭載車の話が消防関係では話題になつてる事を聞いています。

日本版救急蘇生法の新ガイドラインも三月に発表され、新型コロナウイルス対応の限定的な心肺蘇生法では傷病者の息にも注意してハンカチなどあてて少し距離を離す事で、感染防止対策の一部をしている事とするそうです。事故やテロによるケガでの止血法も強調されより善意の技術が求められている内容でした。私は銭湯を営んでいます。日頃の応急手当訓練と共にAEDの毎月の点検もいくつか怠らないようにしていきます。

2面へつづく

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの助成金により運営されております。広く会員を募集しております。